

令和5年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立江之子島文化芸術創造センター	指定管理者：enoco 文化創造プロジェクト	指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日	所管課：府民文化部 文化・スポーツ室 文化課
-----------------------	------------------------	-------------------------	------------------------

評価項目 ＜評価基準＞	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S～C		S～C	
<p>I 提案の履行状況に関する項目</p> <p>(1) 施設の設置目的及び管理運営方針</p> <p>＜評価基準とすべき事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的に沿った運営 提案された管理運営方針に沿った管理 社会貢献活動、環境活動、法令順守の取組み 	<p>■府立江之子島文化芸術創造センター（以下、「enoco」）の設置目的に基づき、設立背景やこれまでの実績を踏まえた管理運営を遂行し、文化芸術拠点の機能強化を図れているか。</p> <p>■令和5年度の事業計画の管理運営方針及び重点方針のとおり、取り組んでいるか。</p> <p>■運営目標で活動の三本柱として掲げている「現代美術の振興」、「交流・活動・協働機会の創出」、「次世代への継承・発展」に基づいた運営ができているか。</p> <p>■施設での年間を通しての状況を把握すると共に良好な管理運営がなされているか。また、enoco ならではの場づくりと運用に努め、主体的な創造活動と交流の機会を提供できているか。</p> <p>■enoco の管理運営を通して、社会貢献活動、環境活動、法令順守の取組みができています。</p>	<p>■「enoco 文化創造プロジェクト」が指定管理者として enoco の運営に関わり2年目を迎え、enoco 設立の背景やこれまでの実績を踏まえた enoco 独自の管理運営業務を遂行し、文化芸術拠点としての機能強化を図ることで、文化芸術を享受する基盤を拡大し、あらゆる人々が文化を通じて、いきいきと活動できる都市を目指し「現代美術の振興（connection）」、「交流・活動・協働機会の創出（communication）」、「次世代への継承・発展（cocreation）」の3本柱を掲げ、以下の事業を実施してきた。</p> <p>■運営目標について 「現代美術の振興（connection）」 企画展の実施や、大阪国際文化芸術プロジェクトと連携した「具体 the REVI VAL 展」出展などを通じた幅広い層に関心を持ってもらえるコレクション活用や、音楽と美術コレクションが融合した展示やトークイベント、ダンスイベントなどを実施。</p> <p>「交流・活動・協働機会の創出（communication）」 「アーティスト・イン・レジデンス」および関連したトークイベント、成果展を実施。また EXPO2025 盛り上げイベントや、「イケフェス大阪 2023」への参加、ダンスとコレクションのコラボ企画及びタレントを使ったワークショップなど、より幅広く多くの方々へ enoco や enoco に関わるアートに触れていただき交流を深める事業を実施。</p> <p>「次世代への継承・発展（cocreation）」 「アートな精霊プロジェクト」ではアーティストと地元の小学生が協力しライブペインティングでのウォールアートを制作。完成したアート作品は阿波座駅地下通路壁面に長期展示。 近隣小学校と連携した対話型美術鑑賞や、子供向けワークショップを10月～2月に月1回開催。その作品展を2024年3月に実施するなど、次世代へのアプローチに力を注いだ。 9月には、enoco 主催展覧会の大阪府20世紀美術コレクション展「くりかえしとつみかさね」の展示作品を用いて近隣の小学校及び大阪教育大学附属特別支援学校を対象に対話型美術鑑賞「見て・みて・エノコレ！」を実施して多くの作品に触れる機会を持った。 また子供たちの居場所づくりとして「アートな自習室 こどもミートルーム」を実施。稼働の少ない貸室の利用率の向上と子供たちが“アート”に触れ合う機会を創出。</p> <p>■主体的な創造活動と交流の機会 既述の通り「アートな精霊プロジェクト」では西大阪治水事務所や西区役所、Osaka Metro 阿波座駅と連携し、地域の公共広場でアーティストと一緒に小学生がライブペインティングを実施。完成した作品は阿波座駅に長期展示することとなった。次世代の子供たちとの創造活動を通して地域との交流の機会を持つことができた。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> センター設立の背景やこれまでの実績を踏まえ、文化芸術拠点の機能強化を目指した事業計画のもと、運営を行っている。また、昨年度から引き続き、現代美術に関心がない人に関心を持ってもらえるよう、他の分野とのコラボレーションをするなど、新たな取り組みを推進している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 次世代を担う若手アーティストの利用促進、機会提供について、今後検討しながら取り組まれない。
<p>(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果</p> <p>＜評価基準とすべき事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 公平なサービス提供、対応 障がい者・高齢者等への配慮 	<p>■enoco 利用者が公平に利用できるように、内規やマニュアルを整備し、適正に運営を行っているか。</p> <p>■障がい者、高齢者等に対する配慮や利用援助が適切になされているか。</p>	<p>■職員については、館内研修を実施するとともに、今までの利用規定やマニュアルを見直し、過去の慣習にとらわれず利用者が公平に利用できるように努めるとともに、定期的にご利用いただいている方には見直し内容を丁寧に説明し理解を得るなど、公平公正な施設運営に努めた。</p> <p>■障がい者、高齢者等に対しても、丁寧な対応を行い、館内サインも見やすくわかりやすいものに改善し、利用しやすい施設運営に努めている。 (例：お手洗いの場所を聞かれることが多い→各階にわかりやすく改訂したご案内を掲示する)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> 職場研修を実施し、障がい者や高齢者に対して適切な対応ができるように努めている。 	A	

<p>(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加のための工夫 ・利用者数 ・利用者満足度調査結果（総合満足度の前回調査との比較等） 	<p>■主催事業及び貸館事業において、これまで enoco を利用していなかった人たちに、新たに enoco を利用していただけるような運営を行っているか。</p> <p>■アンケート結果を利用するなど、センターの利用者等が増加するような取り組みを行っているか。</p> <p>■enoco の認知度向上及び利用者増加のために、ホームページ・SNS・紙媒体等の様々な媒体を使用し、ユーザー層を鑑みた効果的な広報ができていますか。</p> <p>■誰にでも分かりやすい言葉を用いた広報に努めているか。</p> <div style="border: 1px dashed gray; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><参考>令和4年度実績（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇来館者数延べ 85,780 人（100,000 人） ◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 664 件（700 件） ◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 112 件（220 件） </div> <p>【目標値】</p> <p><利用者関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇来館者数延べ 95,000 人 ◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 700 件 ◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 220 件 <p><貸館関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇多目的ルーム1～4（展示室）貸館利用率 目標 60% ◇多目的ルーム5～12（クリエイティブルーム・シェアルーム含む）貸館利用率 目標 65% 	<p>■主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「20 世紀のイメージとサウンド～音楽でたどる大阪府の美術コレクション」立川直樹名誉館長のプロデュースで FM COCOLO と連携し 4 月に開催。立川名誉館長の出演ラジオ番組、ラジオスポット、HP で告知した。関連イベントとして SUPER AUDIO LIVE やトークイベントも開催。参加者は初めて enoco を知った方が殆どで非常に効果的な PR ができ、音楽を通じた新しいアートな展覧会を開催することができた。 ・「情報紙」9 月 enoco 情報紙 Vol.3 を発行し、大阪府の施設、プレス 663 社に送付した。また、Facebook ほか SNS で告知し HP 上で閲覧できるように対応し、広く enoco をアピールしている。 <p>■認知度向上のための広報活動（enoco 認知度向上の施策として）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもミートルームの夏休み特別バージョン「こども絵日記ルーム」を 8 月 1 日（火）～27 日（日）で開催。事前に発信したリリースを見た朝日新聞が取材で来館。大阪市内版に大きく掲載されて、その記事を見た FM 局や地上波（朝日放送）に取り上げていただき広がりを見せ、遠方からの来館につながった。 ・企画展「くりかえしとつみかさね」9 月 1 日（金）～17 日（日）では、Facebook にキュレーターが案内する 360 度動画をアップし新しい層に来館をアピールした。 ・事業実施の際には、ターゲットを絞り SNS 等を活用し告知を行っている。Instagram は若い世代（10～30 代）、Facebook は（40～60 代）をターゲットとし、網羅的に事業実施の際に、告知を行っている。また、Instagram のストーリーを投稿する際は、各事業で主にターゲットにしている年代が、目にしやすい時間帯をねらいアップロードを行っている。フレッシュさを保つ為、事業中や実施終了後、毎日 1 投稿をしている。特に海外でも需要の多い Instagram では、投稿専用のデザインも考慮し、人の目につきやすい仕組みと仕掛けに取り組んでいる。 ・主催事業に関しては、PR TIMES や Art Sticker、AIR J、KACCO、こどもお出かけ情報いこーよなどのメールニュースや各自主事業に適した総合サイトへの依頼を行い新たな客層への宣伝・告知も行っている。 ・近隣地域には、ケーブルチャンネル Baycom「週刊 Bay ニュース」に告知依頼し訴求に努めている。 ・また、障がいのある方々に当館へ来所していただくために、事業実施の案内などを各福祉施設へ送付している。 ・「20 世紀のイメージとサウンド」スペシャルトークイベントや大阪国際文化芸術プロジェクト「EXPO ART & MUSIC CAMP」にて実施した enoco 出張ワークショップ、地域と連携した「アートな精霊プロジェクト」など積極的に動画を YouTube にアップしたうえで、HP のトップページでの配信や Facebook を始め SNS で告知し広報・宣伝に努めた。 <p>・本年度配信 YouTube チャンネル動画再生回数（1 月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 4 月 20 世紀のイメージとサウンドトークイベント 400 回 8 月 アートな精霊プロジェクトメイキング 226 回 11 月 大阪国際文化芸術プロジェクトワークショップ 123 回 <p>【実績値】12 月末現在（（ ）内は、目標値）</p> <p><利用者関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇来館者数延べ 87,877 人（95,000 人） 達成率：93% ◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 704 件（700 件） 達成率：101% ◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 281 件（220 件） 達成率：128% <p><貸館関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇多目的ルーム1～4（展示室）貸館利用率 60.6%（60%） ◇多目的ルーム5～12（クリエイティブルーム・シェアルーム含む）貸館利用率 51.6%（65%） 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の増加を図るため、ホームページや SNS を使用した迅速な広報を行っている。広報活動の工夫など、新たに enoco を認知、利用してもらうことを目指した取り組みを行っている。 <p><利用者関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者数は目標値の達成が見込まれている。「文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数」と「enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数」は 12 月時点で目標値を上回っている。来年度も引き続き来館者数等の増加に繋がるよう、効果的な広報を行いより魅力ある事業内容としていただきたい。 <p><貸館関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館利用については、多目的ルーム1～4については目標値と同程度である。多目的ルーム5～12については目標値を下回っている。来年度以降、効果的な広報活動を通じて利用率の向上に努めていただきたい。 	<p>A</p> <p><貸館関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に利用率が低い貸室について、来年度にむけて改善策を検討いただきたい。
---	---	---	---	---

<参考>令和4年度実績(目標)
 ◇多目的ルーム1~4(展示室)
 貸館利用率 71.0%(50%)
 ◇多目的ルーム5~12(クリエイティブルーム・シェアルーム含む)
 貸館利用率 61.4%(60%)

<利用者満足度調査(アンケート)関連>
 ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数300以上。
 アンケートの結果 プラス評価80%以上。
 ◇貸館関連アンケート有効回答数80以上。
 アンケートの結果 プラス評価80%以上。
 ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数参加者の8割以上。 アンケートの結果 プラス評価80%以上

<参考>令和4年度実績(目標)
 ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 245(100)
 ◇貸館関連アンケート有効回答数 104(80)

<認知度向上(広報)関連>
 ◇webサイト全体の総セッション数100,000回/年
 ◇メールニュース配信者数 2,500件(者)
 ◇Facebookのフォロワー数 3,700件
 ◇Twitterのフォロワー数 2,200件
 ◇Instagramのフォロワー数 2,000件
 ◇SNS配信回数 65回/年(イベント関連以外)
 ◇SNS配信回数(イベント告知)110回/年
 ◇SNS配信回数(イベント状況等配信)75回/年
 ◇メディア(WEB含む掲載数) 130媒体以上/年

<参考>令和4年度実績(目標)
 ◇webサイト全体の総セッション数 98,011回/年(88,000)
 ◇メールニュース配信者数 2,062件(2,500)
 ◇Facebookのフォロワー数 3,527件(3,700)
 ◇Twitterのフォロワー数 1,996件(2,200)
 ◇Instagramのフォロワー数 1,382件(1,300)

<利用者満足度調査(アンケート)関連>
 ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数405(300以上) 達成率:135%
 アンケートの結果 プラス評価90%(80%以上)
 ◇貸館関連アンケート有効回答数76(80以上) 達成率:95%
 アンケートの結果 プラス評価98%(80%以上)
 ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数79%(参加者の8割以上)
 アンケートの結果 プラス評価92%(80%以上)

<認知度向上(広報)関連>
 ◇webサイト全体の総セッション数 累計88,162回(100,000回) 達成率:88%
 ◇メールニュース配信者数 平均:2,064件(2,500件) 達成率:83%
 ◇Facebookのフォロワー数 平均:3,545件(3,700件) 達成率:96%
 ◇Twitterのフォロワー数 平均:2,010件(2,200件) 達成率:91%
 ◇Instagramのフォロワー数 平均:1,476件(2,000件) 達成率:74%
 ◇SNS配信回数 累計71回(65回/年(イベントのPRは別途実施)) 達成率:109%
 ◇メディア(WEB含む掲載数) 累計209媒体(130媒体以上) 達成率:161%

<利用者満足度調査(アンケート)関連>
 ・「主催展覧会関連アンケート」については、有効回答数、プラス評価ともに目標値を上回っている。
 ・「貸館関連アンケート」については、有効回答数は昨年ベースであれば目標値を達成する見込み、プラス評価については目標値を上回っている。
 ・「子どもを対象としたイベント関連アンケート」については、有効回答数は目標値と同程度であり、プラス評価については上回っている。
 ・アンケートへの回答アンケートの結果をまとめて、適宜運営に反映している。来年度も継続することで利用者数の増加に努めていただきたい。

<認知度向上(広報)関連>
 ・「webサイト全体の総セッション数」は、昨年ベースであると目標値を上回っている。
 ・「メールニュース配信者数」「Facebookのフォロワー数」「Twitterのフォロワー数」「Instagramのフォロワー数」は、目標値をやや下回っている。
 ・「SNS配信回数」については、目標値を上回っている。
 ・「メディア掲載数」についても、目標値を上回っている。
 ・メールニュース配信者数やSNSフォロワー数について目標値を下回っているため、来年度に向けて運用方法を検討いただきたい。

<p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力的なプログラムの開発 接遇研修実施回数・参加者数 提案された利用時間延長等の実施状況 	<p>「現代美術の振興」</p> <p>《コレクションの保管・管理》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■作品の適切な管理を行っているか。また、展示・貸出の際は、作品保護についても考慮し、展示・貸出を行っているか。 ■コレクションについて、定期的に点検・清掃を行っているか、修復等が必要な場合は記録及び報告を行っているか。 ■コレクションについて、順次、現物と台帳の確認を行い、破損等について記録及び報告を行っているか。 <p>【目標値（コレクション保管・管理関連）】</p> <p>◇コレクションの現物と台帳の確認 2,000 点/年</p> <p>《コレクションの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■美術館・大学・地域・産業界等と連携し、様々な場所での展示機会を創出し、コレクションを活用しているか。 ■enoco 内での展示をはじめ、府関連施設・美術館・公共施設・民間企業等の多くの人々が利用する場所にコレクションを貸し出し、府民にコレクションの鑑賞機会を提供できているか。 ■ICT を活用した新たな鑑賞方法の導入等、様々な手法を用いてコレクションを活用できているか。 ■展示作品等、活用の状況を enoco ホームページ等で発信できているか。 ■これまでに展示や貸出を行ったことがないコレクションを積極的に活用できているか。 <p>【目標値（コレクション活用関連）】</p> <p>◇活用点数 1,000 点以上</p> <p>◇企画展 2 回以上/年</p>	<p>「現代美術の振興」</p> <p>《コレクションの保管・管理》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保管する美術コレクションに保険をかけ、適切な保管・管理に努めている。 ・美術コレクションの内容に精通した学芸員を常勤 2 名配置するとともに、非常勤でコレクションの管理等に過去にかかわり、経緯の解る学芸員を配置し点検、清掃、修復など指導を仰いでいる。 ・展示・貸出しの際には、展示条件を確認する等、作品保護についても考慮している。 ・長期貸出作品の状態確認を実施（大阪国際がんセンターなど） ・外部貸出作品の修復対応も行っている。 ・コレクションの現物と台帳の確認は、四半期毎に記録や報告を適正に行っている。 <p>【実績値（コレクション保管・管理関連）】12 月末現在（ ）内は、目標値）</p> <p>◇コレクションの現物と台帳の確認 794 点（2,000 点）達成率：39.7%</p> <p>《コレクションの活用》</p> <p>◇外部貸出（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本生命病院において、コレクションを常時展示。 コレクション作品展示数：常時 2 点(年 6 回展示替え) ・ANA 大阪国際空港(伊丹空港)にコレクションを常時展示。 コレクション作品展示数：常時 6 点(年 2 回展示替え) ・大阪国際がんセンターと連携し、「アートな病院プロジェクト」と位置づけ、院内における美術コレクションの管理や掛け替え、案内パンフレットの制作等を実施。がんセンターの要望に決め細かに応えることで、貸し出しの長期継続化に努めている。 コレクション作品展示数：103 点(R5.12 末現在)※R6.3 展示替え作品数 64 点 ・株式会社大洋工芸/初田製作所に作品を常時展示。 コレクション作品展示数：常時 5 点(年 2 回展示替え) ・大阪労災病院において、コレクションを常時展示。 コレクション作品展示数：常時 8 点 ・その他、ホテル・府立施設・府庁内等に展示 <p>◇他施設展覧会・イベント等への貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月開催 大阪国際文化芸術プロジェクト「EXPO ART & MUSIC CAMP」での「具体 the REVIVAL（具体美術や AU 作品の室内展示）」2 点貸出。 <p>◇コンテンツの充実（enoco HP、Youtube チャンネル）</p> <p>以下の取組みを前指定管理者が実施している内容を継承・発展させながら、取り組んだ。</p> <p>HP では、企画展「くりかえしとつみかさね」（9/1～17）の作品をテレビ会議、Web ミーティング用バーチャル背景画像（壁紙）として掲載し広くコレクション活用を行った。</p> <p>◇主催企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023 年 3 月 28 日(火)から 4 月 23 日（日）「20 世紀のイメージとサウンド～音楽でたどる大阪府の美術コレクション～」を開催 展示活用作品 56 点 入場者数 593 名 アンケート回収 156 枚 ・2023 年 9 月 1 日（金）から 17 日（日）大阪府 20 世紀美術コレクション展「くりかえしとつみかさね」を開催 展示活用作品 45 点 入場者数 715 名 アンケート回収 229 枚 <p>【実績値（コレクション活用関連）】12 月末現在（ ）内は、目標値）</p> <p>◇活用点数 1,045 点（1,000 点以上）達成率：105%</p> <p>◇企画展 2 回（2 回以上）</p> <p>【今年度末までの活用予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪国際がんセンター展示替え ・洋舞協会との共催「ダンス de エノコレ」 ・トークイベント「エノコアートラウンジ」全 6 回 	<p>B</p> <p>《コレクションの保管・管理》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレクションについて、適切な保管・管理に努めている。収蔵庫の空調運転状況などについても、適正に報告を行っている。 ・コレクションの現物と台帳の確認については、美術の専門家等から意見をいただきながら、次年度以降も文化課と協議を行いながら、計画的に進めていただきたい。 <p>《コレクションの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの貸出先での展示の継続とともに、展示先と連携を深め、展示替えも積極的に実施できている。 ・来年度以降、美術館等の文化施設との連携や、新たな場所での展示ができるよう積極的な PR に努めていただきたい。 <p>◇主催企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「20 世紀のイメージとサウンド～音楽でたどる大阪府の美術コレクション～」では、音楽と府所蔵コレクションをテーマにした新しいアイデアの展覧会を実施できている。 ・「くりかえしとつみかさね」では、複数の学校と対話型鑑賞を実施することができた。 ・来年度も新たな視点の企画展を開催するなど、より積極的な活用に努めていただきたい。 <p>◇活用点数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用点数については、目標値を上回る見込みである。また、企画展実施についても、目標値を上回っている。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレクションの保管、管理について、大阪府含めて検討を続けていただきたい。
---	---	--	---	--

	<p>「交流・活動・協働機会の創出」</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■多目的ルームの貸出しにあたり、多様なニーズに対応し、質の高いサービスの提供に努めているか。 ■割引サービスなども含め、わかりやすい募集チラシの作成、発信や、SNS 広告等の活用等、戦略的な広報を行い、新規利用者の開拓を含め、より幅広い層が利用できるよう促進に努めているか。 ■適正な減免を行っているか。 <p>《交流・活動・協働の拠点づくりに関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設立時から培ってきたネットワークを活かし、新たな文化関係機関等とのネットワークの構築・連携ができてきているか。 ■幅広い文化芸術に関する情報収集・情報発信ができてきているか。 ■多様な人・組織、府内市町村等からの文化芸術に関する相談に対し、アドバイスや情報提供等を行うワンストップ窓口を設置し、適切に運用できているか。また、ワンストップ窓口に関して、効果的な周知・広報ができてきているか。 	<p>「交流・活動・協働機会の創出」</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■多目的ルームについて <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ルームの貸出しについては、多様なニーズに対応し新規の顧客開拓につなげるため「若年層割引」を実施している。また、一般利用者のイベント、展覧会スケジュールを HP に、展示会の様子を Instagram にそれぞれ紹介し広報宣伝に協力をしている。また、メールニュースを月 1 回発行（配信者数約 2,000 件/月）しイベントや貸館利用について紹介をしている。 ■利用促進について <ul style="list-style-type: none"> ・enocoHP TCP ページに「よくある質問（FAQ）」欄を新たに設け貸室利用者からよく頂く質問に答える内容とした。 ・利用者に気持ちよく利用して頂けるよう、頂いた意見を都度検討しながら出来る範囲で柔軟に対応するよう努めている。 <p>例）貸出備品や展示室搬入時における柔軟な対応など また、施設内での情報共有を密に行い、どのスタッフでも不足なくスムーズに対応できるよう日々の引継ぎやご案内内容の統一に努めている。</p> <p>例）申し送り用に slack のアプリを活用し、利用者さまそれぞれの対応方法の共有や前日の申し送りなどをきめ細やかに行っている。 今期、新しく導入した Air リザーブにより、利用者に対応する際に、検索・発見の精度が上がり、従来の待ち時間が短くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシやフライヤーのデザインは、担当スタッフが各事業にあった書体や色彩、構成に気を使い、 <ol style="list-style-type: none"> ①どの客層に当てたデザインか ②たくさん配置されるデザインの中で手にとってもらうための工夫 ③紙の一つにもこだわりを持った印刷会社の選択 などで、細やかなこだわりを持ち、実践をしている。 ・新規利用者には、HP での文化・芸術相談窓口「エノコンシェルジュ～そうだ enoco に聞いてみよう～」の分かりやすい相談フォームにより問い合わせがしやすい環境を整えている。 ・展示会場の探索、イベントの企画、講座・教室の開催における提案、専門家や大学、スタジオなどの紹介、広報をおこなう上でのポイントや各依頼場所についてなど、幅広い相談へ対応できるよう柔軟に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ■適正な減免について <ul style="list-style-type: none"> ・貸館における利用料の減免については、館内に審査委員会を設置し、利用目的や内容を評価して厳正に審査を行った。 <p>〈全額減免〉計 1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪特別支援教育諸学校造形教育研究会（2024/7/30-8/4「第 45 回子どもたちの讃歌展」） <p>〈半額減免〉計 6 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府福祉部 高齢介護室 介護支援課地域支援グループ（2024/6/4-9「大阪府シニア美術展」） ・大阪市中学校文化連盟（2024/8/29-9/1「大阪市立中学校総合文化祭美術展」） ・大阪公立大学大学院都市経営研究科（2024/1/16-1/21「大阪公立大学『EJ ART』人材育成プログラム EJ 芸術祭（仮）」） <p>《交流・活動・協働の拠点づくりに関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■文化関係機関等とのネットワークの構築・連携について <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ <ul style="list-style-type: none"> 8 月から 10 月にかけて、大阪成蹊大学芸術学部から 2 名の受け入れをし、それぞれ 10 日間ずつ企画・運営業務を体験してもらった。今後の連携につなげていきたい。 ・大学との連携 <ul style="list-style-type: none"> 8 月 24 日（木）、京都精華大学大学院生「制作系の大学院学生を学外に連れ出し視野を広げる」授業を受け入れて、大阪アーツカウンシルと連携して enoco の事業を説明した。学生 13 名、アーツカウンシル 2 名参加。 	<p>A</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ルームの貸出しについて、アンケート結果を活用するなど質の高いサービスの提供に努めている。 ・メールニュースや SNS の配信を行い、貸室の利用を促進するなど、幅広い層が利用できるように努めている。 ・利用料の減免については、審査委員会を設置し、利用目的や内容を評価して、不平等な取扱いがないように適切に運営している。 <p>A</p> <p>《交流・活動・協働の拠点づくりに関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携については、隣接する日本生命病院、近隣小学校、西大阪治水事務所等との連携に取り組んでいる。 ・国内外からの問い合わせや視察希望に真摯に対応することで施設の魅力発信に努めている。 ・enoco のファンをつくるため、今年度は、enoco の施設外でワークショップを開催するなど新たな取り組みができてきている。 ・幅広いアーティスト等が活躍できる場を提供するため、アーティストインレジデンスの実施や、ワークショップに新たな講師を招聘するなど取り組んでいる。 	
--	---	--	---	--

	<p>■センター周辺の地域と連携しながら、地域に開かれた施設となり、住民に身近に感じられる施設運営ができています。</p> <p>■enoco のファンづくりに努めているか。</p> <p>■幅広いアーティスト等が活躍できる場を提供するとともに、連携を図れているか。</p>	<p>■情報収集・情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・enoco 情報紙「創刊号 Vol. 3」 9月に発行 ・補助金申請に関する情報収集を行い、職員で共有したうえで申請した。 ・事業実施の際には、ターゲットを絞り SNS 等を活用し告知を行っている。（再掲） ・貸館利用者と協議し、enoco 事業との連携を図ることができた。 <p>■ワンストップ窓口について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エノコンシェルジュ～そうだ enoco に聞いてみよう～」 HP に文化・芸術相談窓口「エノコンシェルジュ～そうだ enoco に聞いてみよう～」を設置しアートだけにとらわれず文化芸術を通して地域活性化やまちの魅力づくりなど様々な課題解決に取り組んでおられる方々に enoco のスタッフや関係者がアドバイザーとなって解決のヒントや課題解決に向けたアドバイスを行うとともに関係団体へつなぐ相談事業を展開した。 【12月末時点：10件】 実績：社会福祉法人 内容：幼稚園を運営している団体。対話型美術鑑賞授業実施について相談有。幼稚園児30名対象にどんなカリキュラムが組めるか？ →対話型鑑賞研究者に相談 実績：一般財団法人 内容：計画段階での後援事業活動として海ゴミを集め、子供たちに海ゴミを使ったハロウィンの仮装衣装を制作、その際のアートデレクターを紹介してほしい。 →昨年のこどもアート学科の講師を紹介したところ、制作協力として参加してイベントが実施された。 <p>■住民に身近に感じられる施設運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートな精霊プロジェクト 7月1日(土)・17日(月祝)、「Osaka Metro 阿波座駅アートな精霊プロジェクト」として大阪市立本田小学校・明治小学校・西大阪治水事務所と協力し、木津川遊歩空間(トコトコダンダン)でのアートイベントや OsakaMetro 後援による OsakaMetro 阿波座駅7・8号出入口地下通路壁面への作品の展示を実施。 ・地下フリースペースの活用 4月 江之子島の歴史と enoco の紹介、まるむし商店磯部氏制作クレイアニメ「こども110番・5つの約束」を大型モニターで放映 9月 同上内容に「アートな精霊プロジェクト」メイキング「こどもアーツカレッジ」告知をプラスし放映 11月 enoco の塗り絵の新作を追加設置 9月～2月 enoco や収蔵作品と関連したトークイベント「エノコアートラウンジ」を月1回開催 ・新たな施設運用展開 「アートな自習室 こどもミートルーム」 稼働の少ない多目的ルームをこどもたちの居場所作りの為に活用した。土日を自習室として無料で提供。 オリジナルの塗り絵やアートに関する書籍、施設内備品(折紙・スケッチブック・色鉛筆等)も無料で貸し出し、アートに触れ合う機会とした。 ・センター周辺の地域との連携 隣接する日本生命病院において、コレクションを常時展示。 コレクション作品展示数：常時2点(年4回展示替え) 広教連合振興町会への参加 西大阪治水事務所、OsakaMetro との連携 「アートな精霊プロジェクト」 アーティスト小澄源太氏と一緒に近隣の小学生たちとトコトコダンダンにてライブペインティングを実施。完成した作品を OsakaMetro 阿波座駅8号出口地下通路にて2027年3月末まで掲示。 <p>■enoco のファンづくり</p> <p>以下のような連携や、これまでになかった事業を実施し、これまで enoco を認知していなかった人にも enoco を認知してもらえるように取り組んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ窓口（エノコンシェルジュ）を設置、運用できているが、相談件数が少ない状況。取組が知られていないことも考えられるため、より一層の周知に努めていただきたい。 	
--	---	---	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪国際文化芸術プロジェクト」との連携 10月21日(土)・22日(日) enoco 出張ワークショップ「ハンドメイドのオリジナルキーホルダーを作ろう!」 万博記念公園で開催された「EXPO ART & MUSIC CAMP」の会場に enoco ブースを展開し下記ワークショップを実施。 よしもと芸人サルインと一緒に、ハンドメイドのキーホルダーを制作。テンプレートのデザインの表面は enoco 所蔵の大阪府 20 世紀コレクション作品の模写の塗り絵。裏面は、自由に描き、オリジナルキーホルダーを作った。両日共に 14 時頃予定参加数に到達。皆さん喜んで塗り絵をされて、特に子供達に人気が有り「楽しかった」「またやりたい」などの声が多く、出来上がったキーホルダーを早速カバンに付けて帰る子もいた。22 日には、enocoYouTube チャンネル用の動画収録を実施。動画には日本語字幕、英語字幕をつけ、国内だけでなく海外の方にも興味を持ってもらえるようにした。アンケートの満足度は非常に高く、今後、恒例の enocoVS として考えている。参加人数：2 日間で 95 名 ・「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2023」と連携 10月28日(土)・29日(日) <ul style="list-style-type: none"> ▶1階エントランスの紹介 工業会館当時の面影の残るエントランスの時計(停止中)や、大理石のアーチや階段など ▶enoco が建てられた 1938 年前後の作品の展示 コレクションギャラリーに浅野竹二、川西英といった関西の都市 風景を描いた名所版画作品を展示 ▶ガラスレリーフの展示 4F ライブラリーに工業会館当時のエントランスに設置されていた、アールデコ調のガラスレリーフの実物 5 枚を展示 ▶当館資料展示および閲覧、解説パネル設置 4F ライブラリーに時代の変遷によって用途や外観を変えてきた当館の歴史を、地図や写真資料などで振り返るコーナーを設置 入場者：28 日 96 名、29 日 90 名 ・視察訪問への対応 <ul style="list-style-type: none"> ▶「韓国東海市の市長一行」 9月7日(木) 韓国東海市の市長ご一行視察団 6 名が、関西視察の中で美術施設を視察したいとのことで来館。企画展「くりかえしとつみかさね」を案内し、地下鉄阿波座駅へお連れして「アートな精霊」作品をご紹介、大阪府や地元自治体、小学校児童と一緒に作成した旨を説明した。 ▶「大阪市内介護事業所」 10月15日(日) 介護事業所利用者が見学に来館。コレクションギャラリー前にて enoco 施設と展示作品の説明。その後、ルーム 4、ルーム 1 を見学。ルーム 4 の主催者から作品の説明など対応して頂く。 参加人数；16 名(内職員 3 名)※2 班に分けて来館 ▶「UAE(アラブ首長国連邦)ルブカーン財団」 12月13日(水) 視察内容が子どもの教育についてとの事前情報の為、「こどもアーツカレッジ」「見て・みて・エノコレ!」「アートな精霊」「enoco のぬりえ」の実施概要をスライドで説明。子どもを対象としたプログラムに強い関心があり、質疑応答を行った。その後阿波座駅に移動して「アートな精霊」展示作品をご覧いただき、enoco が近隣の公共施設、学校など協力し芸術を通して地域活性に寄与していること伝えたところ高い評価をいただいた。 後日、UAE 大使館より、視察メンバー全員が大変満足していたとの報告を受けた。 ■アーティスト活動の場の提供 アーティスト・イン・レジデンス(第 2 回 ESSAP2023)の開催。 昨年度に続いて enoco short stay art program 事業を実施。 2024 年 3 月より、若手アーティストに多目的ルームをスタジオとして貸し出し、創作活動の支援を行う事業。若手アーティストが大阪で活動を行う上でのきっかけづくりや、人にとってアートが身近なものであることを体感してもらうことを目的とする。2023 年 10 月に募集をしたところ、12 名の応募があり、厳正な審査の上 1 名を採択。アーティストの関心の高さを感じた。 		
--	--	---	--	--

	<p>「次世代への継承・発展」</p> <p>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》</p> <p>■子ども向けの教室やワークショップを実施し、子どもや学生が文化芸術に関心を持つ機会の提供ができていますか。</p> <p>■若手アーティストや地域の子どもたちと連携し、センター内に留まらず江之子島周辺で文化芸術に関する取り組みができていますか。</p> <p>《enocoの歴史を次世代に継承する事業》</p> <p>■江之子島周辺地域の歴史を、建物の魅力を活用し伝えていく取り組みができていますか。</p> <p>【目標値（次世代への継承・発展関連）】</p> <p>◇子どもたちを対象にしたイベント5回以上/年</p> <p>◇アンケート有効回答数 参加者の8割以上。アンケートの結果 プラス評価80%以上（再掲）</p>	<p>「次世代への継承・発展」</p> <p>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》</p> <p>■大阪府西大阪治水事務所、西区、OsakaMetroとの連携</p> <p>「アートな精霊プロジェクト」</p> <p>アーティスト小澄源太氏と一緒に近隣の小学生たちとトコトコダンダンにてライブペインティングを実施。完成した作品を地下鉄阿波座駅8番通路にて2027年3月末まで掲示。小学校や町内会も巻き込んで地域と連携したプロジェクトとなった。（再掲）</p> <p>■対話型美術鑑賞授業「見て・みて・エノコレ！」</p> <p>enoco 主催展覧会の大阪府 20 世紀美術コレクション展「くりかえしとつみかさね」の展示作品を用いて近隣の小学校及び大阪教育大学附属特別支援学校を対象に対話型鑑賞を実施した。</p> <p>①9月12日(火)、大阪市立本田小学校3年生4クラス(生徒126名、教員7名)</p> <p>②9月15日(木)、大阪市立明治小学校4年生3クラス(生徒87名、教員9名)</p> <p>③9月13日(水)、大阪教育大学附属特別支援学校 中学部5名、教員2名</p> <p>■アーティスト・イン・レジデンス（第2回 ESSAP2023）の開催（再掲）</p> <p>■enocoでの子ども向けワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもアーツカレッジ <p>2018年度から実施している、こどもたちの表現力と創造力を育むことを目的に小学生を対象としたアートプログラム「こどもアート学科」を、2023年度より「こどもアーツカレッジ」に改称。今年度は、川口奈々子、森山佐紀、山本麻起子、小西景子、花岡伸宏の5名のアーティストを講師として招き、作家独自の思考にふれ、多様な表現、素材、技法を学びながら、表現力と創造力を育むワークショップを実施。全5回のプログラム終了後は、こどもたちの創造力豊かな作品の発表の場として、3月「こどもアーツカレッジ作品展」（仮称）を開催予定。</p> <p>「今年度参加人数」</p> <p>①10月22日(日)「油絵具で油彩転写にチャレンジ！」（川口奈々子）：23名</p> <p>②11月3日(金祝)「研いで磨いて漆の風景石を作ろう」（森山佐紀）：22名</p> <p>③12月3日(日)「はたらいっているひとやものにメッセージを送ろう」（山本麻起子）：11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの教室やワークショップ参加者に新オリジナル「enoco自由帳」を配布しenocoファンづくりに繋げるツールとして活用している。 ・地下フリースペースに「enoco塗り絵」を設置。サルインや森本大百科のオリジナル塗り絵で来館の子どもたちにアートに触れ合う機会を創出した。今年度はサルインの塗り絵を追加。 <p>【今後開催予定の事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもアーツカレッジ <p>1月「版画で自分を刷ってみよう！」（小西景子）</p> <p>2月「家にあるものをつかって立体作品をつくろう」（花岡伸宏）</p> <p>3月 作品展</p> <p>《enocoの歴史を次世代に継承する事業》</p> <p>■「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2023」と連携（再掲）</p> <p>■江之子島の歴史とenocoの紹介を大型モニターで放映</p> <p>■エノコアートラウンジ(全6回)の第2回にて「enocoと江之子島の物語」をテーマにトークイベントを実施。</p> <p>【実績値（次世代への継承・発展関連）】12月末現在（（）内は、目標値）</p> <p>◇子どもたちを対象にしたイベント5回（5回以上）達成率：100%</p> <p>◇アンケート有効回答数 77%（参加者の8割以上）</p> <p>アンケートの結果 プラス評価87%（80%以上）</p>	A	<p>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アートな精霊プロジェクト」、対話型美術鑑賞授業「見て・みて・エノコレ!」、 「こどもアーツカレッジ」等の子ども向けワークショップができています。また、「こどもアーツカレッジ」や「アーティスト・イン・レジデンス」にて、若手アーティストと連携したイベントが実施できた。今後も次世代育成について、引き続き取り組んでいただきたい。 ・江之子島周辺での取組として、西大阪治水事務所や西区役所、大阪メトロと連携し「アートな精霊プロジェクト」を実施することができた。 <p>《enocoの歴史を次世代に継承する事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の魅力を活用した取り組みができています。 ・江之子島の歴史を紹介するトークイベントを実施できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・若手アーティストは活動の場を求めているので、アーティスト・イン・レジデンスの実施及び、他の事業の展開についても検討いただきたい。
	<p>「自主事業の実施」</p> <p>■enocoの収益性を高め、より充実した施設運営を可能とする財源の確保に努めているか。</p> <p>■センター利用者の増加や、enocoの認知度向上に繋がるような事業内容に取り組んでいるか。</p>	<p>「自主事業の実施」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月1日(土)「もりやすバンバンビガロの楽しいアートMAGIC ROOM」を実施。1日2回 参加者39名。 また、8月19日(土)に第2弾を実施。参加者30名（保護者含む）。ペットボトルを使って「太陽の塔」をモチーフにマジックのタネを制作。アートとMAGICのコラボが好評で、アンケートからもアートが身近に感じられたなどご意見有り 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き自主事業に取り組み、収益の増加や認知度向上に努められたい。 	A	

			<ul style="list-style-type: none"> ・12月13日(水)「笑い飯哲夫のお正月しめ縄作り体験教室」実施。36名参加。申込開始と同時に定員に達する盛況ぶり、アシスタントのサルインからも参加者全員にクリスマスカードをプレゼント。半数近くの参加者が初めて enoco に来たとのアンケート結果も出て、認知度向上に繋がった企画であった。この企画は、毎年の恒例企画とする予定。 ・2月1日(木)、(一社)全日本洋舞協会との協働事業として「ダンス de エノコレ〜ダンス・音楽とつなぐ大阪府 20 世紀美術コレクション〜」を実施予定。義足のダンサー大前光市を迎え、大前さんが感性で選んだ収蔵作品の前で即興ダンスを生演奏にあわせ披露。他宗本舞(フルート)、松浦景子(吉本新喜劇)が出演。この事業も新たなファン層拡大の事業として実施していくつもり。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ■センタースタッフへの接遇研修や人権研修等を実施し、来館者に対し丁寧な対応ができていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフに「男女間のトラブルについて」「令和のセクハラ対策最前線」というテーマでコンプライアンス研修を実施。人権意識の向上を図った。また、全スタッフと 1on1 ミーティングを行い、パワハラ防止や、接客面での改善点など意見を共有するとともに、今までの利用規定やマニュアルを見直し、利用規定に変更があった際には、利用者に丁寧に説明を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフへの研修や来館者への丁寧な対応が行われている。引き続き利用者サービスの向上に務められたい。 	A
<p>(5) 施設の維持管理の内容、的確性及び実現の程度</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検・補修の的確性、迅速性 ・定期点検の実施状況 ・職員研修の実施回数・参加状況 	<ul style="list-style-type: none"> ■センターの維持管理、安全管理、補修等が的確、迅速に実施されているか。 ■防災・安全対策等について、危機管理体制を確立し、研修等を行い適切な対応ができる体制がとられているか。 ■定期点検を適切に実施できているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・enoco の維持管理に必要な各種点検について、年間実施計画に基づいて予定通り実施している。 ・現場責任者の下、緊急体制を整えて連絡網を整備し、危機管理体制を確立している。 ・年2回消防訓練を実施。テナントも参加 ・新型コロナは第5類感染症に移行しているが、ご年配や幼少の来館者も多いことから、館内では常時マスクの着用を徹底している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの維持管理や防災・安全対策、定期点検について適切に行われている。 	A	
<p>(6) 府施策との整合</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案の実施状況 ・就職困難者の雇用状況 ・知的障がい者等の現場就業及び職場定着支援等の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> ■府の実施する施策等と十分に連携し、効果的かつ効果的な運営を行っているか。 ■府の実施する事業への支援協力を積極的に行っているか。 ■知的障がい者等の現場就業が実現できているか。 ■府が実施する福祉施策・環境施策等に取り組むように努めているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■府施策との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府国際文化芸術プロジェクト」との連携（再掲）同時開催の「具体展」では、収蔵作品から2点を展示用に貸出。 ・「もずやんバースデー 2023」との連携 10/8(土)、大阪府主催の「もずやんバースデー 2023」にて、enoco オリジナルぬりえやオリジナル缶マグネット用のデザインを提供。 ■府事業への支援協力 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府咲洲庁舎地下に保管されていた立体作品 105 点について、報道を受けて知事の指示もあり、より良い環境への移転作業に助力した。 ・大阪府が公募して作成したバーチャルミュージアムやデジタルアーカイブについて、資料の提供、内容のチェック、外部用・内部用の表示形式の提案など、可能な範囲で協力・補佐している。 ・今年度の11月末から3月上旬にかけて予定していた収蔵庫空調工事が来年度へ延期となり、作品の避難場所に確保していたギャラリースペースを貸し出しとして開放。各所へ丁寧にご案内し、多目的ルームからギャラリーへの振り替えなど実施して、186,150 円の収入増につなげた。 ■知的障がい者等の現場就業 <ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい者雇用については、募集地域の拡大や時給引き上げを行い募集をかけているが、応募が来ない状況が続いている。直接雇用の実現に向けて、近隣の放課後等デイサービスや就労支援 B 型事業所を運営している会社と連携して就労移行支援（無償）を 2024 年 2 月から開始。就労の練習から始めて雇用につなげていきたい。 ■府が実施する福祉施策・環境施策等 <ul style="list-style-type: none"> ・西大阪治水事務所管理施設（広場）「トコトコダンダン」を活用し、アーティスト小澄源太氏を招いて地元の小学校とともにライブペインティングイベントを実施。また近隣の OsakaMetro と連携して、阿波座駅に長期間掲示することになった。 ・enoco 主催展覧会の大阪府 20 世紀美術コレクション展「くりかえしとつみかさね」の展示作品を用いて近隣の小学校及び大阪教育大学附属特別支援学校を対象に対話型鑑賞を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・府が実施する様々な事業と連携し、展覧会やワークショップを実施できている。 ・知的障がい者の現場雇用について、まだ雇用にはつながっていないものの、募集条件の工夫に取り組んでいる。また、就労移行支援に取り組むことについては評価できる。引き続き直接雇用ができるよう努められたい。 ・引き続き、府が実施する福祉施策や環境施策等との連携に取り組んでいただきたい。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい者の雇用については、公募時の提案内容でもあるので、継続して取り組んでいただきたい。

			<ul style="list-style-type: none"> ・8月30日(水)・31日(木)に、職員研修後、引き続き、ペーパーレス化のメリット・デメリットについて説明。事務所内でのペーパーレス化の方法について意見を募り、各スタッフに周知、徹底を行った。 ペーパーレス化の取り組みの一歩として、主催イベント受付時に参加者へ案内・記入いただいていた許諾事項について、申込時にあらかじめフォームに組み込むことにより、当日の申込書(参加者の人数分)の省略と受付業務の簡素化につながった。 				
<p>IIさらなるサービスの向上に関する事項</p>	<p>(1) 利用者満足度調査(アンケート調査)等</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等による利用者の意見の把握状況 ・アンケート結果等の運営への反映状況 	<p>■様々な方法でアンケートを実施しているか。また、収集した情報を分析し、フィードバックに努めているか。</p> <p>【目標値(再掲)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数300以上。 アンケートの結果 プラス評価80%以上。 ◇貸館関連アンケート有効回答数80以上。 アンケートの結果 プラス評価80%以上。 ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数参加者の8割以上。 アンケートの結果 プラス評価80%以上 <p>【アンケート方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 館内アンケートボックス(記述式のアンケートを情報コーナー、窓口等に設置) イ QRコードによるWEBアンケート ウ 窓口での聞き取り調査 エ イベント等でのアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ルーム、展示室利用者や、ワークショップ、イベント参加者、来館者にアンケートを実施。特に自由記述のコメントには注意し、適宜運営に反映をしている。 例) (要望) 施設の利用料が高いと思いました。申し込み手続きが少しわずらわしいと感じました。もう少しシンプルに! (対応) 申請書のペーパーレス化も含めて検討をしていきます。 (要望) 会場にBGMを導入してみてください。各作品群が、又違った感じを与えてくれます。 (対応) 他のご利用者様に迷惑がかからない程度のBGMは、了承していきたいと思えます。 ・また、問い合わせの多い質問については、HPにFAQとして掲載している。 【実績値(再掲)】12月末現在()内は、目標値) ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数405(300以上) 達成率:135% アンケートの結果 プラス評価93.4%(80%以上) ◇貸館関連アンケート有効回答数85(80以上) 達成率:106% アンケートの結果 プラス評価95.9%(80%以上) ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数77%(参加者の8割以上) アンケートの結果 プラス評価87%(80%以上) <p>【アンケート方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート方法は、フィードバックするために経年の変化・比較が必要となるため、従来の方法に準じ実施している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施し、HPにFAQを作成する等フィードバックに努めている。 ・「主催展覧会関連アンケート」については、有効回答数、プラス評価ともに目標値を上回っている。 ・「貸館関連アンケート」については、有効回答数は通年ベースであれば目標値を達成する見込み、プラス評価については目標値を上回っている。 ・「子どもを対象としたイベント関連アンケート」については、有効回答数は目標値と同程度であり、プラス評価については上回っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を活用した運営の改善・工夫等を引き続き実施していただきたい。
	<p>(2) その他創意工夫</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫 	<p>■その他、サービス向上につながる取組み、創意工夫に努めているか。</p>	<p>「気軽に来館できる施設づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々が多く集まる地下カフェ横スペースに「たいぞう」や「森本大百科」「サルイン」などよしもと所属アーティストの作品でオリジナル塗り絵を作成し来館のこどもたちにアートに触れ合う機会を創出している。 また、60インチの大型モニターでは、enocoの歴史や開催イベント、大阪府「こども110番・5つの約束」をこどもたちにわかりやすくクリエイティブアニメで制作し放映、紹介している。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者との日々の会話や貸室利用アンケートの中から意見やニーズを積極的に拾い、利用しやすい運営方法の改善に日々努めている。 (例) <ul style="list-style-type: none"> ▶「提出書類が多くわかりにくい」との意見を受けて、ギャラリー内定者への送付書類の簡素化・注意事項をわかりやすくまとめた書式へ変更。 ▶館内の案内サインの改善 ▶駐車場の安全のため運営・管理を改善 ▶enocoの地図を見やすいものを新たに作成、など。 ▶展示室レンタル希望者へはご利用前に下見を積極的にご案内し、スタッフ立ち会いで事前にルームを見学いただきプランのすり合わせをおこなうことで、展示当日の作業がスタッフ・利用者ともにスムーズにおこなえるよう工夫に努めている。 ▶多目的ホール利用者には、複数件を予約する方が多い為、書類の変更をおこない「複数件用利用申込書」を作成し、利用者の手間の軽減とペーパーレス化を図っている。 ・利用率が低い多目的室(ルーム6)の利用向上の為、 <ul style="list-style-type: none"> ①ESSAP(アーティスト・イン・レジデンス)での作家への制作場所提供 ②こどもへの自習室(こどもミートルーム)として利用案内をし、場所の有効活用を行っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も、来館者が増加するような仕掛けやサービス向上につながるような取り組みを実施していただきたい。 	A	

			<ul style="list-style-type: none"> ・こどもミートルームでは、こどもたちが入りやすいように季節に応じたカレンダーのデザイン作成や案内板をカラフルにするなど、こどもの目線にあわせた工夫を行っている。 ・8月には、こどもミートルームの夏休み特別バージョン「こども絵日記ルーム」をルーム9で開催。伸び伸びと絵を描ける空間を提供した。 				
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、的確性及び実現の程度 <評価基準とすべき事項> ・事業収支の計画に対する妥当性	■ 収支の改善に努めるとともに、適正に事業を実施しているか 【目標値】 (収入) ◇貸館収入：18,728千円 ◇事業収入：1,450千円 (支出) ◇事業費(カフェ・物販除く)：5,550千円 ◇広告宣伝費：300千円 ※収支報告の際は、「所蔵作品活用事業費」と「主催・共催事業費」を個別に算出して報告すること。	・貸館収入については、12月から3月で予定をしていた3F 収蔵庫空調工事が延期となった為当初使用不可であった4F 展示室を10月に急遽開放し利用促進に努めた。その他、計画どおり順調に推移している。 【実績値】 12月末現在()内は、目標値 (収入) ◇貸館収入：16,413千円 (18,728千円) 達成率：87.6% ◇事業収入：946千円 (1,450千円) 達成率：65.2% (支出) ◇事業費(カフェ・物販除く)：5,552千円 (5,550千円) 消費率：100.0% ◇広告宣伝費：0千円 (300千円) 消費率：00.0% 【今年度(1月～3月)の貸館予約状況】 (収入(予定)) ◇貸館収入：約3,866千円	A	・貸館収入については、計画以上に収入を得られているが、全体の収支については支出が多くなっている。次年度については、今年度の実績を精査し、収支計画を立て、事業を実施していただきたい。	B	・事業の中で収入を確保する手立て等、引き続き収支改善に努めていただきたい。 ・広告宣伝費について、各イベント事業費に合算されているとのことだが、予算同様に項目、費目別に示していただきたい。
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力 <評価基準とすべき事項> ・事業実施に必要な人員数の確保・配置 ・事業実施に必要な人材(要資格者や専門性・技術を要する職員等)の確保・配置 ・従事者への管理監督体制・責任体制 ・従事者への研修実施の状況	■ 事業実施に必要な人員数の確保・運営体制・配置になっているか。 ■ 従事者への管理監督体制・責任体制は妥当であるか。 ■ 職員研修は十分に行われているか。	・経験値のある学芸員を1名追加で雇用し、学芸員業務以外にも受付や運営などセンター全般の業務の対応をしてもらっている。 ・開館時間内は、最低2名が事務所に勤務し、来館者対応が出来る体制を整えるとともに、すべての業務に関して職員・スタッフが相互に補完し合えるよう、マルチスタッフ化を図り運営をしている。 ・職員研修として人権研修、マナー研修を実施した。今年度内に2度目の消防訓練を実施予定。	A	・十分な人員を確保し、適切に配置することで運営体制を構築している。また、職員研修も実施できている。 ・引き続き、安定的な運営を継続していただきたい。	A	
	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤 <評価基準とすべき事項> ・法人の経営状況	■ 共同事業体の経営状況、経営規模、健全な財務状況等が確認できるか。(財務諸表により確認)	・共同事業体の経営状況、経営規模、財務状況は、施設運営を担う上で問題のない状況で安定している。	A	・安定的な経営基盤を築いている。	A	・提供のあった財務諸表等から、運営上の問題は発見できない。

<各項目評価の基準> S 計画を上回る優良な実施状況 A 計画どおりの良好な実施状況 B 計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況 C 改善を要する実施状況 <年度評価の基準> S 項目ごとの評価のうちSが5割以上で、B・Cがない。 A 項目ごとの評価のうちBが2割未満で、Cがない。 B S・A・C以外 C 項目ごとの評価のうちCが2割以上。又は、Cが2割未満であっても、文書による是正指示を複数回行う等、特に認める場合	<総合評価(令和7年度)及び最終評価(令和8年度)の基準> I 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちSが5割以上で、B・Cがない。 II 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちBが3割未満で、Cがない。 III I・II・IV以外 IV 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちCが5割以上。ただし、評価対象期間の後半、取組状況に継続的な改善傾向が認められる場合を除く。 ※ 総合評価がIVとなった場合には、次回の指定管理者選定時に減点措置を講じることとする。
--	---

年度評価： B

総合評価：
(最終評価)

 ※ 総合評価は、最終年度の前年度(令和7年度)に実施。最終評価は、最終年度(令和8年度)に実施